

気仙沼湾・唐桑半島東部海域貝毒プランクトン調査結果

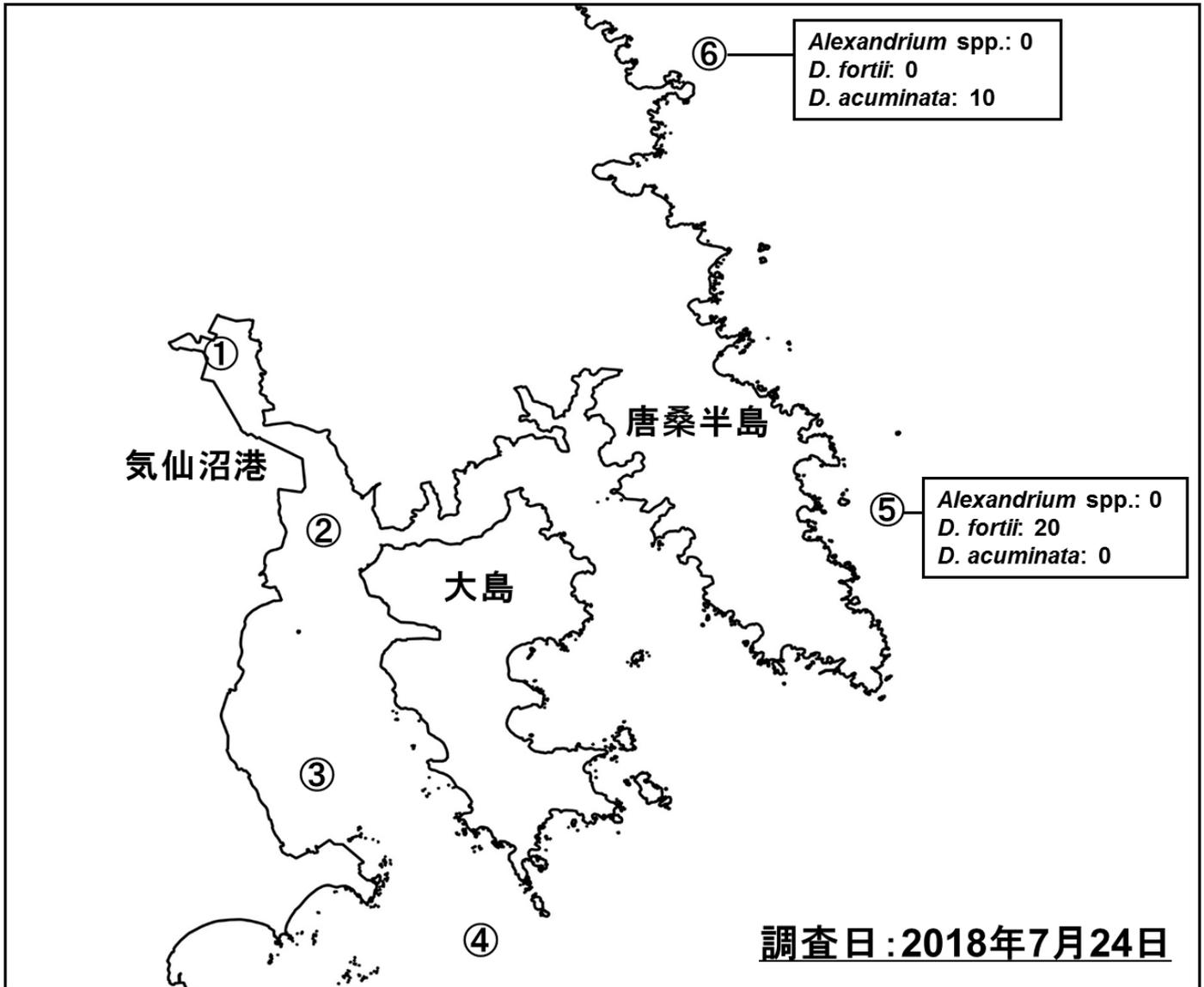


表: 今回(7月24日)の調査結果

調査地点	水深	水温 (°C)	塩分	貝毒プランクトン出現数(cells/L)				備考
				Alexandrium spp.	Dinophysis			
					D. fortii	D. acuminata	その他のDinophysis	
①港町	0m	-	-	-	-	-	-	23日通報済み
	5m	-	-	-	-	-	-	
②母体田	0m	-	-	-	-	-	-	23日通報済み
	5m	-	-	-	-	-	-	
	10m	-	-	-	-	-	-	
③ニツ根	0m	-	-	-	-	-	-	23日通報済み
	5m	-	-	-	-	-	-	
④岩井崎	0m	-	-	-	-	-	-	23日通報済み
	5m	-	-	-	-	-	-	
	10m	-	-	-	-	-	-	
⑤滝浜	-	-	-	0	20	0	0	
⑥大沢	-	-	-	0	0	10	20	D.mitra D.caudata

※Alexandrium spp.はまひ性貝毒、D. fortiiとD. acuminataは下痢性貝毒の原因プランクトンです。

※プランクトン出現数は水深0~10 m(①と③は底つき)の柱状採水のデータです。

※次回の調査は7月30日に実施予定です。